

音魂祭終わる

10月22日、音魂祭が終わった。今回のシリーズ記事では、コンクール優勝に向かって燃える中学生の姿をテーマにしてきた。今回の最終号では当然その結果と、勝った組の喜び、負けた組の悔しさを描いて終わる予定だった。この日もそのつもりで文案を考えながら取材していたが、この目論見は見事に失敗してしまった。気楽に優勝の行方を面白く書くことは彼らに不敬だと取材しながら考えるようになってしまった。それほどこの日の音魂祭はすばらしく、中学生たちがクラスのため友のために真剣に歌う姿は初老の記者にも感動的だった。

この日、会場の千葉県文化会館を満席にしたのは打瀬中生徒とその父兄を合わせて約1,800人。しかも朝9:30から午後3:30頃までの時間に行われた学年ごとの演奏に、父兄は交代して入ったので実際には2,000人を超えるベイタウンからの聴衆があったと思われる。

音魂祭開始直後、聴く側の関心は我が子のクラスが優勝するか、だっただろう。朝練と言って毎朝のように早出する子どもを送り出し、家で楽譜を見ながら歌詞を覚える子どもたちをこの4ヶ月ずっと見てきた



最優秀賞を受賞した3年G組の課題曲合唱。

のだ。だがそんな期待や心配をよそに中学生たちは生き生きと歌い、喜び合い、仲間と歌うことを楽しんだ。屈託なく友達と抱き合う姿を見て、忘れかけていた熱いものがこみあげた方も多いただろう。【松村守康】



「3年生の最優秀賞は自由曲『海はなかった』を歌った…」ここまで聞いて沸き立っただのは3年G組の客席。前評判の予想を覆しての優勝だけに男子生徒のガッツポーズも迫力があつた。



優勝目指して猛練習を重ねてきた3年B組男子諸君。発表直前に「自信は？」と聞いたらこのポーズだった。



立錫の余地なく埋まった千葉県文化会館大ホール。1階が生徒席、2階が保護者席。



各学年の合唱前の校歌斉唱で指揮をした李君と伴奏をした村岡さん。2人は1年間校内行事で校歌の指揮と伴奏をし、この音魂祭での演奏を最後に引退する。2人の指揮と伴奏は人気が高く、今年初めの卒業式、入学式での演奏は来賓諸氏の食事会でも話題になっていた。



(写真上) 桐原実行委員長の開会の挨拶では「音魂祭がベイタウンニュースでも取り上げられ、地域の関心も高くなっています」と思いもかけず小紙の名前が出て驚いた。こちらこそこんな楽しい取材はそうない。(写真下) 会場内でカメラを持っていると3年A組の女生徒たちから声をかけられた。「俺もそう捨てたもんじゃないな」と思ったが、なんのことはない、ベイタウンニュースと知って写真をせがまれたのだった。



音魂祭こぼれ話 プログラム表紙コンテスト



音魂祭はもちろん合唱のコンクールだが、同時に開かれるプログラム表紙のデザインコンテストも打瀬中の生徒にとっては一大関心事だ。実行委員会が主催し、全校生徒に対して応募用紙を配って表紙デザインを募集する。絵やデザインの好きな中学生は多く、毎年沢山のデザインが応募される。マンガなどサブカルチャーの人気が高まってきていることも影響しているのだろう。

今年、音魂祭のプログラム表紙コンクールで選ばれたのは3年生、神谷伊紗奈さんの作品。10人の仲間が上を向いて歌うデザインは印象的。似顔絵かと思うほどそれぞれの顔にリアリティがある。「この絵の人たちには誰かモデルがいるの?」と聞いたところ、「特に意識はしなかったけれど、自然に似たのかも知れません。ひとは多分すぐ分かるかな」とのことだった。

神谷さんが本格的に絵を描きはじめたのは中学生になってから。絵やマンガを描くことが友達の間で流行っていたからという。一時は漫画家になることも夢見たそう。音魂祭では3年G組の自由曲「海はなかった」の指揮もする神谷さん。「難しい曲なのでミスしないよう毎日家で楽譜とにらめっこしています」



多目的室でインタビューに応じてくれた神谷さん(写真左)と、陸上部で仲良しだった中村さん(写真右)。

「放送大学」を自分流に楽しむ!

「放送大学」というと、どんなイメージをお持ちだろうか。テレビやラジオ(最近ではインターネットでも)を使って、自宅に居ながらにして授業を受けられる大学というのが一般的な理解だろう。平成15年にリタイアした西村啓造さん(セントラルパークウエスト在住)も放送大学に在籍する学生だが、従来のイメージとはちょっと違う学生生活を楽しんでいる。

それを可能にしているのが、ベイタウンから歩いて行けるところにある「放送大学本部」(若葉2-11)と「千葉学習センター」(同敷地内)だ。

西村さんの日課は、駅前のスポーツジムで汗を流した後、ウォーキングを兼ねて放送大学に通うというもの。いわば「通学型」。大学では、視聴学習室を利用して、用意された授業のビデオテープ、DVD、CDなどの教材を好きな時間に視聴する。学生食堂で昼食を食べ、帰宅するのは夕方になる。

退職後の時間を有効に過ごしたかったという西村さんは、このスタイルで、自分の興味のある歴史や芸術、哲学を中心に勉強してきた。

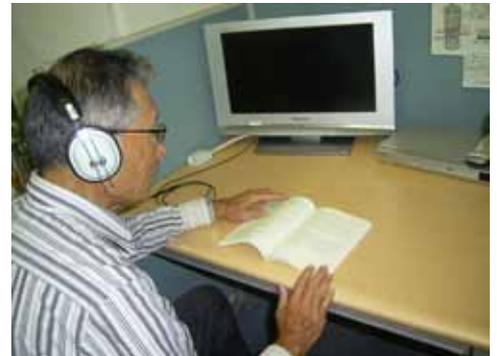
「もう一つ素晴らしいのが、本部の附属図書館です。広いロビーやゆったり雑誌を読むスペースはもちろん、一人ずつに机があり、まるで自分の書斎にいるような雰囲気も気に入っています。また蔵書のほかに、膨大な数のビデオやDVDコレクションがあり、私は好きなオペラのレーザーディスクやDVDを2年半かけて全部視聴しました。

まだまだ見たいものがあって、当分楽しめそうです。私にとっては宝の山といったところですね」

このほか「面接授業」という講義スタイルの授業もあり、他の学生とともに授業を受けることも。取材した10月には、映画「蝉しぐれ」の映画監督を招いての面接授業があるそうで、今から楽しみにしていると語ってくれた西村さん。尽きぬ知的興味と自由な時間があれば、シニアライフはかなり楽しめそうだ。そのためにも、せっかく近くにある「放送大学」、有効利用しない手はない。一般の方でも、見学や図書館の利用は可能とのことなので、ぜひ、散歩がてらにでものぞいてみてはいかがでしょうか。入学は年2回(4月・10月)。【佐藤】



放送大学内の図書室で本を探す西村さん(写真上)。



第2回コア・フェスタ 募集情報

第2回コア・フェスタが11/19(土)、11/20(日)の2日間、ベイトウン・コアで開催されます。昨年の第1回フェスタのように楽しいイベントが目白押しです。詳しい内容はこのベイトウンニュースに挟み込まれた実行委員会発行のチラシをご覧ください。みなさんのおいでをお待ちしています。

「お茶会」のご案内(11/20)

参加資格：だれでも参加できます(事前に茶席券をお求めください)
日時：11/20(日)午後1:00～3:30
場所：ベイトウン・コア 和室
茶席代：一席300円(当日券あり)
申し込み：296-3037(作山)まで電話でお申し込みください。

楽しもう!写真撮影～あなたもカメラに強くなれる(11/20)

参加資格：写真に興味がある方ならどなたでも、カメラと筆記用具をご持参ください
日時：11/20(日)午後2:00～4:00
場所：ベイトウン・コア 工芸室
参加費：無料。

フリーマーケット出店募集(11/19、20)

参加資格：ベイトウン在住の方
出店日時：11/19(土)、11/20(日)10:00～16:00
募集出店数：40店(1日20店)
出店場所：ベイトウン・コア 中庭(昨年と同じです)
参加費：無料
申し込み：mazmbtn@gmail.com(松村)までメールでお申し込みください(先着順です)。

「こども将棋大会」めざせチャンピオン(11/20)

参加資格：ベイトウン在住の小学生
日時：11/20(日)午後1:00～3:30
募集人数：32人(トーナメント方式)
場所：ベイトウン・コア 工芸室(昨年と同じです)
参加費：無料
申し込み：211-0918(高田)まで電話でお申し込みください(先着順です)。
募集締め切り：11/13(日)まで

昆陽から考えたベイトウン名物

う～ん。この企画、始めてしまって気が付いたが、写真の商品を全部そろえるのに意外と出費が……。

商店街のお店を応援するという意味でこれらの商品を借りるわけにもいかないし、ベイトウンニュースの厳しい財政事情では取材費で落とすのは無理な話だし。結局、深呼吸で気合を入れ、5番街のヤンマーで「ベイトウンラーメン」を、同じく5番街の蔵で「ベイトウンワイン」と「ベイトウンおこげ」を、17番街のパニエで「吟醸生貯蔵酒うたせ」を、ミラマールのパティスリー タルブでは「昆陽」、「幕張甘藷物語」を一気に仕入れた。

ベイトウン名物と言えば、17番街のパニエの「吟醸生貯蔵酒うたせ」が始まりだ。お酒に相当こだわっているパニエ(2010.1月号で紹介)の梅原さんが、酒蔵探しに厳選に厳選を重ね、2007年から君津市の宮崎酒造から卸してもらっているものだ。同じく2007年にベイトウン商店会(山根会長)が鎌ヶ谷市の茂野製麺と試作を繰り返して開発した煮干し風味の「ベイトウンラーメン」もある。

その後3番街のチャイナ厨房チンタンタンの佐川さんが、伝統ある山梨県勝沼のワイナリー白百合醸造に依頼して作った「ベイトウンワイン(赤・白)」と、商店会の企画で作られた、千葉県産たまり醤油使用の「ベイトウンおこげ」が加わり、最後に今回取り上げる「昆陽」となる。

今回「昆陽」の取材をすることになった切っ掛けは、パティスリータルブの竹見氏からのメールだ。千葉テレビの番組で、幕張新都心賑わいづくり研究会(商店会自治会も加盟)で考案した「幕張スイーツ 昆陽」が紹介されるというお知らせだった。

製品名「昆陽」の由来は幕張の歴史にあるそうだ。江戸時代、8代将軍吉宗に命じられた青木昆陽が甘藷(サツマイモ)の試作地を作り、そこで栽培されたサツマイモが天明の大飢饉で多くの人々の命を救ったのだという。京成幕張駅の近くには、この功績を讃えて建てられた昆陽神社がある。

このこともあり、パティスリータルブの竹見氏はベイトウン名物を考える時、千葉の由緒あるものとして「サツマイモ」にこだわっている。これまでも「スイートポテト」や、神田外語大学の学生とのコラボで作られた「幕張甘藷物語」がある。

今回幕張新都心賑わいづくり研究会では、「幕張新都心を象徴するようなお土産を」とのことから、やはりサツマイモをベースにしたスイーツを開発することにすんなり決まったという。

そして30種類あまりのアイデアの中から選ばれたのが、千葉

県産サツマイモを使った「昆陽」だ。裏ごしを重ねてなめらかに仕上げ、クリームチーズでアクセントをつけた餡(あん)を、雪見だいふくの皮のような薄い求肥(ぎゅうひ)で包んで作られたお菓子だ。

「昆陽」は、今はミラマールのパティスリー タルブでしか購入できないが、幕張新都心の土産物として定着し、メッセのイベント会場や、周辺ホテルの売店などに当たり前のように並べられることになり、ベイトウン内の空き地に昆陽の製造工場が作られ、大量生産される日がやってくるのだろうか？

そして、その時にあまり手先が器用ではない記者も雇ってもらえるのだろうか？ 【金】



黒川侑ヴァイオリンリサイタル案内

ベイトウン・コアの冬のイベントとして恒例になってきた「黒川侑ヴァイオリンリサイタル」を今年も12/23に開催します。今年には日本を代表する若手ピアニスト、北村朋幹氏をピアノに迎えてのリサイタルです。北村氏と黒川氏は留学先のヨーロッパでもたびたび共演をしており、2人の天才がどんな演奏を聴かせるか楽しみです。

今回のコンサートでは更に、こちらにも日本を代表する若手作曲家山中惇史氏の作品を演奏します。曲名、内容は不明ですが、それもその筈、曲は黒川氏の依頼でこのコンサートのために新しく作曲中のもの。もちろんベイトウン・コアでの今回の演奏が初演となります。

ベイトウン・コアでの演奏は黒川氏にとっても楽しみなコンサートとなっているようで、毎回非常に意欲的なプログラムを聴かせてくれますが、今回も非常に密度の高いプログラムです。

クリスマス・イヴも近い12/23の午後。ベイトウン・コアで最上の音楽をお楽しみください。

日時：12月23日(金、祝日) 午後1:30開場 午後2:00開演
場所：幕張ベイトウン・コア 音楽ホール
チケット：2,500円(一般)、1,500円(中学生以下)、3,000円(大人こどもペアチケット)
予約：大垣(TEL:276-3878 E-MAIL:yvogaki@k4.dion.ne.jp)、松村(TEL:211-6853 E-MAIL:mazmbtn@gmail.com)

プログラム(予定)

ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ6番 イ長調 作品番号30/1
バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ2番 イ短調 BWV 1003
シベリウス：ソナチネ ホ長調 作品番号80
山中惇史：(曲名未定・委嘱作品・初演)
パガニーニ：奇想曲2,11,3番
ラヴェル：ツィガーヌ



千葉ソロギターサークル第3回定期演奏会

日時：2011/12/4(日)開場12:00頃、開演：12:30頃、終演：16:30頃
会場：千葉市・幕張ベイトウンコア・音楽ホール(定員約200名)
入場料：無料(全席自由席、先着順)
内容：千葉ソロギターサークル1年間の活動を締めくくる大イベント。約70人のメンバーの初級者からプロまで約30人が出演し、ギターの独奏や重奏の他、ピアノやフルート等との室内楽など多彩な演目をお届けします。曲目はクラシックを中心に、映画音楽やポップスなど幅広く演奏し、音楽を通して地域社会に貢献します。サークル員一同、多数の皆様のお越しをお待ちしています。

問合せ：090-6482-9418(上原)
主催：千葉ソロギターサークル(代表・上原淳)

ジュニアコーラスフェアリーズ 7th Concert

日時：11月27日(日)開場13:30 開演14:00
会場：ベイトウン・コア 音楽ホール
入場無料

指揮：森本真由美
ピアノ：白田圭介
ゲスト：岩水美稚子(ソプラノ)

曲目：「光のおとるみち」より小鳥の旅ほか三善晃作曲
ホワイトナイト ほか 久石譲作曲
平和を求める祈り ほか 横山潤子作曲
アヴェマリア シューベルト作曲

今年のテーマは「祈り」です。ともに声を合わせて歌うことができる幸せに感謝して、心を込めて演奏したいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

フェアリーズHP <http://jc-fairies.net/>

(2011年千葉県合唱アンサンブルコンテスト金賞・銀賞受賞、少年少女合唱祭全国大会出場)

団員募集中!

入団・コンサート問い合わせ 久保(272-2388)

11月13日(日) ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

第100回ファツィオリの会

時間：18:00～21:00 場所：ベイトウン・コア 音楽ホール
月に1度、休日のひと時をイタリアのフルコンサートピアノ「ファツィオリ」を囲んで音楽を楽しむ会です。ピアノ以外の楽器、歌の演奏でもご参加いただけます。非公開でもご利用いただけますので、お気軽にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。今月は、第2日曜日の夜間の開催です。最新のプログラムは<http://www.baytown.ne.jp/core/>をご覧ください
申込締切：11月8日(火)、連絡先：TEL & FAX: 211-0273(阿曾)

編集会議から

4ヶ月連続して連載した打瀬中「音魂祭」のレポートも今月で終わりです。取材に協力してくれた打瀬中学校のみなさんありがとうございました。「日頃家では見られない子どもたちの姿が伝わってきて安心した」という父兄の方からの励ましをいただきましたが、同時に「中学生や子どもだけでなく、もっと幅広い世代のことも伝えるべきだ」という意見も編集会議では出ました。今後ともベイトウンの全世代に読まれる記事を目指したいと思います。知りたいこと、伝えたいことがあればコアに設置した「投書箱」もしくはE-MAIL: editor@baytown-news.net までお願いします。

11月のコア・イベント

11月19日(土) わくわくおはなし会 11月の常設お話し会

わくわくおはなし会 コアフェスタ スペシャルバージョン

日時：11月19日 第3土曜日 10:30から
場所：ベイトウン・コア工芸室(いつものおへやの向かい側だよ)
予約不要 途中入場できます。
今月のわくわくおはなし会は、コアフェスタ特別版!
え? 何が特別ですか? それは当日のおたのしみ。
年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子ども、ぜひきてね。
みんなで わくわくしちゃおう!
読み手も募集中 見学大歓迎!
ブログも随時更新中。* * <http://waku.makusta.jp/> * *
お問合せ先：井上 (043-211-0188 wak2@yahoo.com)

11月26日(土) 公民館講座 セカンドライフ講座

「現代の葬儀、お墓の事情」葬儀を考える NPO 東京 高橋 進先生

時間：午後1:30～3:30 費用：無料
対象：成人 定員：30名
用意するもの：筆記用具
申し込み：11/2から直接または電話で打瀬公民館まで TEL: 043-296-5100